

# 1年間活動して感じたこと3つ!

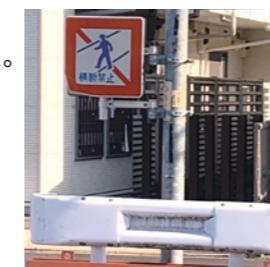
## 1.市民の方々の声をもっと聴きたい

「猛暑の中で子どもたちの熱中症が心配」、そんな声から文教委員会で「熱中症指数計」を市立小・中学校に配備を提案したところ、すぐに配備がきまり、1月にはすべての学校に配備され、この夏の運用方針も整いました。また、「バス停まで遠いので足が悪くて歩けない」「外国の子は学校でどんな受け入れをしているのだろうか心配」という声は、「高齢者の移動支援」や「改正入管法で増加する外国ルーツの子どもへの対応と共生社会」について、一般質問をすることができました。「個人の問題は社会の問題」です。みなさんの声を聞き、それを調べていくことで私も学び成長することができました。ありがとうございます。

他にも

- ・横断歩道横に標識が飛び出していて頭をぶつけた→標識の下にガードレールがつきました。
- ・家の前の道がでこぼこしていて騒音がひどい→スマイルロードを申請し通りました。
- ・公共施設の和室に、膝が痛いため低い椅子を設置してほしい→設置できました。
- ・十日市で神社周辺で立小便が多く困っている→仮設トイレを2基増やしました。
- ・災害時防災無線が聞こえない→今年度より災害時防災電話・FAXサービスができます。

みなさんの声をどうぞお聞かせください。



## 2.議員同士の連携が必要

2月議会では、「女子差別撤廃条約選択議定書への速やかな批准を求める意見書」が可決されました。これは、12人の女性市議で作っている超党派の会で議論してきたもので、全会派の賛成を得ました。また、さまざまな問題に取り組むためには同じ会派の議員はもとより他会派議員とも横の連携をとることが重要です。先輩方の調整力も間近を見て勉強になりました。



## 3.女性の政治参画と多様な声を届けること

この新型コロナウイルス感染下で女性のケア的役割に頼っている職種が多くあり、例えば看護師、介護職員、保育士、相談員などに従事している方はリスクと隣り合わせで働いています。しかもケア的職種の賃金は低い状況にあります。また外出自粛の中でDVや虐待が増加しており、様々な問題の根底に女性問題(ジェンダー)があると改めて感じます。その課題に気づき対応していくためには政治にもっと女性が増えることが必要ですし、行政の管理職の女性ももっと増えてほしいです。そして女性に限らず、多様な方が参画し、その声を届けることが必要です。佐伯かずみはこれからもみんなの声を市政にとどけていきます。

もやもやはLINE@にぜひ!

みなさんのもやもやしていること、お困りごと、ご質問など、あなたの声をぜひお聞かせください。状況を調べて、行政につなぎます。ご遠慮なくこのQRコードを読んで、LINE@でご連絡下さい。また、市の情報、市政報告会のお知らせ、朝の駅頭場所などを流しています。



### 佐伯かずみ プロフィール

詳細はHPをご覧ください。  
実践女子中・高校、成蹊大学卒業。  
息子2人(芝川小・第二東中卒)。  
防災士。趣味はインディアカというスポーツ。好きが高じて国際審判員資格取得。  
好きなものはおせんべいとみたらし団子。



## さいたま市議会議員(1期目) 佐伯かずみ

### この1年の活動を報告いたします!

みなさまのお力添えをいただきまして当選してから1年がたちました。立候補から選挙、そしてこの4月までの1年間の活動と今後の想いをまとめました。これからも変わらぬご支援を下さいますようよろしくお願ひいたします。  
新型コロナウイルス感染症下で毎日ご不安・ご心配な日をお過ごしのことと思います。こんな時だからこそみなさんが力を合わせて乗り越えていきましょう。お困りごとはご遠慮なくご連絡ください。佐伯加寿美はこれからも皆さんの声を市政に届けてまいります。

佐伯かずみが市議会の一般質問や委員会で質問し取り組んでいること

## みんなで元気なチームさいたま市をつくろう!

~年齢、性別、障がい、国籍を超えてゆるやかなつながりのあるコミュニティづくり~

### !新型コロナウイルス対策

医療資材・医療崩壊への迅速・柔軟な対応、スムーズな検査体制、給食が食べられず困っている小中学生への支援、飲食店・個人事業主への市独自の経済支援体制、オンラインでの授業対応・環境整備、DV・虐待増加への対応など。

### !保育園・学童保育の増設

幼児教育保育園の無償化に伴う、保育園・学童保育の増設、保育士・幼稚園教諭・学童支援員の待遇改善。

### !高齢者の移動支援の手段の検討と拡大

コミュニティバス路線やデマンドタクシーの検討、社会福祉法人などの車両提供による生活支援の拡大。

### !コミュニティとつながることのできる場づくり

「孤」育て、介護、ひきこもり(もしくはご家族にいらっしゃる方)、DVかもしれないと悩んでいる方を相談機関やコミュニティにつなげる場づくり。生涯学習と公民館の活性化。

### !防災に強いまちづくり

防災の視点に男女共同参画を取り入れる。避難所内配置・資材や運営、防災計画に女性の視点をいれる。

### !障害者の社会参画

障害のある方が「超短時間雇用」などで働く場所の拡充、レクリエーションやスポーツなどができる環境の確保。

### !外国ルーツの子どもの教育の充実

日本語コーディネーターの増員。保護者への「やさしい日本語」での対応。

### !SDGsの推進(持続可能な開発目標)

SDGsは国連で決議された2030年までに全世界で取り組む17の目標のことです。自然環境を守る、ジェンダー平等、教育、貧困など、グローバルな視点で私たち一人一人が取り組む必要があり、2年後に策定するさいたま市総合振興計画にもSDGsの視点を入れることになりました。



ヤル気、  
元気、  
さえき!

# 立候補決意から選挙戦まで ~ヤル気、元気、さえき!~

## ! 2018.10 立候補を決意~女性が政治に参画するって~

私が立候補を決意した理由は、HPのトップ画面に動画を載せています。お時間ある方はどうぞご覧ください。

### [3つの理由]

- ・「政治分野における男女共同参画推進法(候補者は男女同数にという法律)」が成立したこと。せっかく法ができるのに立候補者が足りないと聞き、私でよければがんばりたいと思って。
- ・国の機関で働いていたので国の施策を市民に知らせる側にいましたが、違和感を覚えるようになり、自分は市民の声を行政に伝える側の人になりたいと思ったため。
- ・男女共同参画の教育機関で、女子大生に「社会を変革するアクションをおこしていきましょう」と教えていた私。でも実際の自分は?と自省。まず自分からアクションをおこす人になろうと決意しました。



## ! 2019.1.1 ドキドキの政治活動開始

仕事を12月で辞め、1月1日から駅での街頭活動を開始しました。立憲民主党の旗を立ててこれからマイクで話すぞという時には、恥ずかしさのあまり帰りたい気分になりました。ほとんど毎日無我夢中で駅頭を続け、自分の目指す、誰もが参画できるまちづくりのための施策を訴えました。「立憲がんばれ!社会をえてほしい」という声が多く、私たちの声が政治に届いていないのだと思いました。先輩の熊谷裕人参議院議員や友人・立憲パートナーズの方が手伝いに来てくださいました。また「ヤル気元気さえき!」とキャッチフレーズを覚えて声をかけてくれる方もいらして、初めてで心細い中を励されました。

## ! 2019.3.29~4.7 全員素人の手作り選挙

地盤も力バンも何もない私でしたので、近くに住んでいる友達に事務長を頼みました。私が入っているインディアカの仲間、障がい者スポーツの仲間、駅頭をしている時に声をかけてくれた方、facebookを見て手伝うよと言ってくれた方などが集まってくれたり、全員ド素人で臨んだ選挙戦でした。最初は手探り状態でしたが、「楽しく元気に!」の合言葉のもと、日を追うごとにみなさんが持ち味を生かして適材適所で運営に参画してくださいました。私が外の活動から帰ってくるたびに事務所内が進化していて、私も驚きと嬉しさの連続で、それとともに、みんなへの感謝の気持ちで一杯になりました。沿道で手を振ってくださった方、駅でがんばってと声をかけてくださった方、みなさん応援してくださり、ありがとうございました。みんなの貴重な一票を無駄にしません。



佐伯 かずみ

検索



# この一年間の活動 ~一人ひとり一步歩一步!~

佐伯かずみは、常任委員会では、「文教委員会(教育とスポーツ関係)」と「予算委員会」に、特別委員会は「大宮駅グランドセントラルステーション化構想委員会」に所属しています。他に「広報編集委員会」にも所属し市議会だより(ロクマル)の編集委員もしています。

### 市議会は年間4回:6月、9月、12月、2月に定例議会を開催。

1回の会期は1か月から1か月半ぐらいです。9月議会では初の一般質問12月議会と2月の予算委員会では会派を代表して討論を行いました。詳細はHPをご覧ください。

議会がない時は、市民のみなさんからのご要望やご質問に対応をしたり、地域で開催されるイベントや講演会に出席したり、会派や委員会の視察、様々な学習会、勉強会、青少年育成会、障害者スポーツ活動に参加、その他政党活動をしています。また佐伯かずみ市政報告会を3か月に1度開催し、市の政策や議会報告をしています。また集まったみなさんでワークショップをしたり勉強会をしたりみなさんのが声や要望をお聞きする場としています。



市政報告会



一般質問(9月)



多様性ある社会づくりシンポジウム(江戸川区市議)



青少年育成会 クリーン作戦



女性の政治参画勉強会 元文部大臣赤松良子さんと



パラ選手と車いすバスケ挑戦



夜回りパトロール



氷川参道の低木植え

朝の駅頭:大宮駅、新都心駅、大宮公園駅など7か所にて。議会のない時はほぼ毎日市政レポートを配布しています。1年間で184回を数えました。しかし現在は新型コロナウィルス感染拡大下のため駅頭は自粛しておりますが、収束しましたら朝の駅頭で市政レポートの配布を再開いたします。



その他、立憲民主党の活動や、7月くまがい裕人氏の参議院議員選挙、8月県知事選挙、9月台風19号募金活動、10月参議院補欠選挙の応援等行いました。



秩父にて